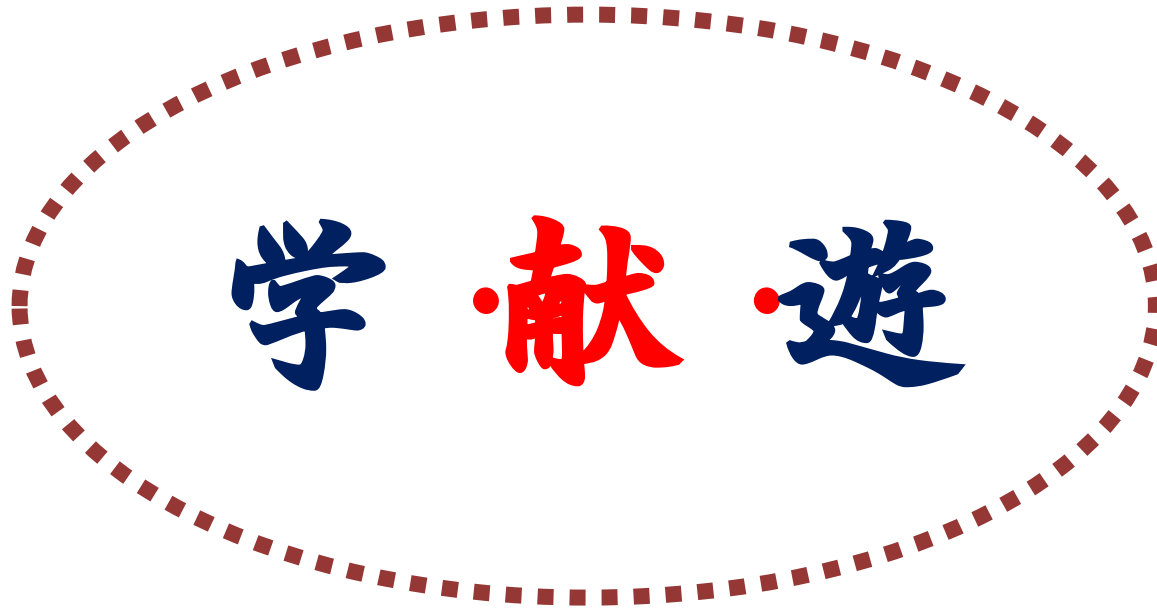




遊びは仕事、仕事は遊び
遊びは仕事、仕事は遊び
仕事は遊び、遊びは仕事
仕事は遊び、遊びは仕事
遊びは遊び、遊びは遊び
遊びは遊び、遊びは遊び

大浦総合研究所
大浦勇三 著

続
ビジネス梁塵秘抄（八）

目次

はじめに

第一部

「遊」

遊びをせんとや生れけん

第二部

「献」

仕事をせんとや生れけん

第三部

「学」

学びをせんとや生れけん

はじめに

平安時代末期、「梁塵秘抄(りょうじんひしょう)」という歌謡集が編まりました。

平安時代末期は、日本の歴史の中でも先が見えない激動の時代でした。編者は後白河法皇で一一八〇年前後のものといわれます。書名の「梁塵」は、その歌で梁(はり)の塵(ちり)も動いたという故事からとられました。

多くの歌が七五調四句や八五調四句、さらには五七五七七の調子など、さまざまなバリエーションからなります。

通常、「梁塵秘抄」といえば、

遊びをせんとや生れけむ、戯れせんとや生れけん、

遊ぶ子供の声きけば、我が身さるこそ動がるれ。

岩波文庫版)

が有名です。

二〇一二年から二〇一四年の三年間、「ビジネス梁塵秘抄(一)〜(十)」全二〇巻(九〇〇ページ・二七〇〇文)を刊行させていただきました。この三年間で日本はもとより、世界の景色は大きく変わりました。日米欧を中心に、それまで国や地域を支えていたさまざまなインフラ・制度の劣化が散見されるようになっていきます。財政の悪化をはじめとして、改革のためのルール・規制が複雑化し、身動きがとれなくなっていること、国民一人ひとりが能動的・自覚的に課題を解決して自律するという意識が衰退し、国や周囲への依存意識が強くなっていること、などが指摘されています。

日本人は三・一一で、あり得ないことも起こること・見たくないものは観えないこと・すべては変わることを経験しました。一方、世界では二〇四五年問題が浮上、一台一〇〇〇ドル程度のPCの情報処理能力が全人類の能力を超えるとの予測も台頭しています。人工知能が人間の意思を介さずに仕事をする時代の予感。人工知能を敵ではなくパートナーとして連携しながら、人間の思考力・発想力を強靱化すべきという課題。人工知能は舗装道路では強力でも、石ころだらけの砂利道では人智の出番も多いはず。世界が合理的・効率的な方向に動き、その大きな流れに太刀打ちできない以上、やりたいこと・やれること・やるべきことの重なる領域を徐々に広げながら前進するしかありません。ドラッカーだけでなく、ピカソからアインシュタインまでを内包するのが二一世紀の経営学。固有の文化・価値観を生かしたイノベーションには組織文化風土の深耕がものをいいそうです。

本書は、「ビジネス梁塵秘抄」に続き、「遊(遊び)」「献(仕事)」「学(学び)」に対する深い思いを無我夢中で纏めさせていただきました。重ねてご寛恕ください。

東京・神楽坂にて

大浦 勇三

遊

遊びをせんとや生れけん

*二〇ページ、六〇文より
一ページ、三文を抜粋

●人間の能力で観るのではなく仏の知恵で観る
すべての現実を まるごと全て観察すること
ささやかな違いのために 悪戦苦闘すること
花・面白き・珍しき 全て同じ心、と世阿弥

●世音（ぜおん） 世の中の音声（おんじょう）
苦しみや悲しみにあえぐ人々が助けを求める声
総合の知の没落 世間は思いがけないことあり
読書 自分の人生に杭を打ち込む、と山崎正和

●世界の若者の失業は 数千万人にのぼる
発酵と腐敗 食べてもOKな腐敗が発酵
高齢社会 でも老いたる馬は道を忘れず
熱しつつ 冷めていることだ、と北野武

献

仕事をせんとや生れけん

*二〇ページ、六〇文より
一ページ、三文を抜粹

● 三〇歳の成人式もよし 人類は冒険する存在
冒険するからこそ サルからヒトに変身した
地球で生き延びるには 人の本質を見極める
前例に従うだけの戒律に価値はない、と一休

● 過去の失敗を繰り返したくない ただ失敗は恐れない
観客がのらなくても ボディブローのように心に残す
小説 根も葉もある嘘をつき 作品に生命を吹き込む
AIは 作品に命を吹き込めない、と俳人・角川春樹

● 人類が誕生した時 職業もなく学問分類もなかった
今後は 初めに戻って 仕事を自ら創っていくこと
人生の真実は深いユーモアの中 多いも少ないもなく
人間の精神を太くしていくこと、と俳人・金子兜太



学びをせんとや生れけん

*二〇ページ、六〇文より
一ページ、三文を抜粋

● 男の終わり 一〇年間で成長が期待される一五職種
一二が主に女性の仕事 サービス・情報経済の分野
社会的な知能 開放型コミュニケーションの多能性
じっと座っての集中力、と作家・ハンナ・ロージン

● 詩作 意識や思考 世界感覚の巨大な加速器
失敗作の中にも 大きな可能性が残っている
加速する世界に参加することだけが 実際は
加速への唯一の対抗手段、と詩人・吉増剛造

● 破壊活動は一方で創造活動 苦難の中にも喜びあり
言葉によらない思考 未来創造科学省を自ら任ずる
見蛇首 知長短 物事の一部を見て全体を推し量る
江戸時代の回顧 近代を反省、と歴史家・渡辺京二

大浦勇三（おおうら ゆうぞう）

oura@office.email.ne.jp

大浦総合研究所 代表

<http://www.ne.jp/asahi/oura/oura-research-institute>

早稲田大学卒業、筑波大学大学院修了。

米国大手コンサルティング会社アーサー・D・リトル 主席コンサルタントを経て現職。主担当領域は、経営改革、経営戦略&情報通信技術（ICT）戦略策定、業務改革／組織改革、研究開発／商品開発マネジメント、ナレッジマネジメント&イノベーションマネジメント、人材マネジメント、コーチング&メンタリング、プロジェクト&プログラムマネジメント、ベンチャービジネス支援等のコンサルティング。

主な著書には、

- ・「ビジネス梁塵秘抄（一）～（十）…（全十巻）」（大浦総合研究所）
 - ・「イノベーション・ノート」（PHP研究所）
 - ・「IT技術者キャリアアップのためのメンタリング技法」（ソフトリサーチセンター）
 - ・「よいコンサルタントの見分け方、かかり方」（清話会）
 - ・「ナレッジマネジメントが見る見るわかる」（サンマーク出版）
 - ・「図解ナレッジ・カンパニー」（東洋経済新報社） ほか
- その他新聞、雑誌、ウェブサイトへの寄稿多数

続・ビジネス梁塵秘抄（八）「抜粋」

著者 大浦勇三

二〇一八年二月 初版 第一刷発行

大浦総合研究所

〒二七〇・〇〇三四 松戸市新松戸七・五四三

○大浦総合研究所

大浦総合研究所の許可なく複製・改変などを行うことはできません。